## 令和6年度 消防本部各課(各署)のハラスメント防止実践項目

課・署	実 践 項 目
総務警防課	・ハラスメントになり得る情報や相談に対し、迅速で的確な対応を行います。
	・相談者や事実関係の確認に協力したすべての職員に対し、プライバシーを守り、不
	利益な取扱いは行いません。
	・ハラスメントに対する知識を深め、個人を尊重し、適切なコミュニケーションを図
	り、風通しの良い職場環境を整えます。
予防課	○お互いが気持ちよく働けるよう、目を見て明るくあいさつをします。
	○話しやすい、相談しやすい職場の雰囲気を醸成するために、日ごろのコミュニケー
	ションを大切にします。
	○ハラスメントにつながる行為や発言は些細なことでも断じて許さず、厳しく対応
	します。
	○実践項目が形だけにならないよう定期的に確認します。
救急課	○職員の人権・人格・価値観を尊重します。
	○思いやりの気持ちを忘れず、より良い職場環境づくりに努めます。
	○挨拶や会話を大切にし、円滑な人間関係を構築します。
通信指令課	・なんでも言い合える風通しの良い職場環境を作る。
	・ハラスメント研修を継続的に行う。
	・全員がお互いを気遣い、体調管理を確認し合う。
	・定期的に課内でお互いの心配事、悩み事を聞き合い、公私ともにストレス削減に努
	める。
	・ハラスメントを見かけた時や受けた場合は、うやむやにしないで、必ず対策やケ
201/17-1-	アを実施する。
消防署	★しない、させない、見過ごさない★
	<ul><li>・ハラスメントに関する知識と防止意識を高めます</li><li>・いかなる形態のハラスメント行為も発生させないよう取り組んでいきます</li></ul>
 みなと分署	・思いやりの気持ちを持ち、相手を尊重し、何でも話しやすい職場作りを心掛ける。
かなこ別者	・気持ちの良い挨拶を心掛ける。
	・普段の会話や指示、そして注意をする際は、衝動的に思った言動を行うのではな
	く、相手の尊厳を傷つけるような言動をしないように、一時、考えてからの言動を
	心掛ける。
南分署	○コミュニケーションで良好な関係を築きハラスメントを防止する
	・コミュニケーション、挨拶、感謝、返事をお互いに積極的に行う
	・自分の常識と相手の常識が異なることを強く認識する
	・相手に合わせたコミュニケーションをとる
	(ひとりひとりの特性に配慮する)

立川分署	○寛容な職場作り
	・年齢、性別、容姿、価値観等の多様性を認める。
	・個人のミスの追及よりも、組織としてミスを防ぐ体制作りに重点を置く。
	・相手の資質、能力を把握しながら知識技術を共有する。
	○ハラスメント防止
	・ハラスメントを発見したら、早期に対処し、改善するようにする。
	・ハラスメント研修の内容を十分に理解し、行動する。
余目分署	・見て見ぬふりをせず、職員のちょっとした変化に目配り気配りを行う。
	・互いを尊重し思いやる気持ちで、相談しやすい雰囲気をつくる。
	・ハラスメントに関する研修を通じて理解を深める。
遊佐分署	1. 不快な発言があった際は、周りが注意する。
	2. 異なる価値観を受け入れ、相互尊重コミュニケーションの徹底を図る。
	3. 相手に対し、感謝と尊敬の念を持ち接する。
	4. 聞き上手に徹する。
八幡分署	1 意識改革
	一人一人が「R 6 Team YAWATA」の Member です。Team 運営(現場活動・日常業務・
	日常生活)のため協力すること。
	2アサーティブ・コミュニケーションの実践
	コミュニケーションは自分と相手、双方の考え・気持ちを同等に扱うこと(尊
	重)。正直・素直にコミュニケーションをとること。
松山分署	○お互いが職場の大切なパートナーであることを意識し、お互いのことを尊重し合
	える職場環境をつくる
	○人格を尊重し、他の人とは比較をせず、ハラスメントと感じる行為があればお互い
	に注意すること
	○挨拶をする場合は、しっかり顔を見て、目を合わせ笑顔であいさつをする
平田分署	○相談のしやすい職場環境並びに人間関係の構築
	・気軽、気さくな相談を行える環境を整備し、信頼できる人間関係の形成
	○公務員倫理に基づく、周囲に配慮した態度及び言葉遣いの徹底
	・常に相手の目線に立ち、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施
	○誰もがハラスメントをする可能性があることの認識
	・一人一人がハラスメントに対する理解を深める